

静岡病院ニュース

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 56
2013年7月10日



くじゅっぼま

(下田 九十浜)

新がん治療センター長就任の挨拶



がん治療センター長
消化器内科 准教授

飯島 克順

4月よりがん治療センター長に就任いたしました。当センターは2006年に開設し、2007年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定されてからは県東部や伊豆地域の外来化学療法の影響、及びがん診療に関連した地域連携の中心として機能してまいりました。

第二の目標として地域の皆さまへの啓蒙活動として一般の方が参加できる「市民公開講座」の開催や、医療従事者を対象とした「がん治療研修会」「緩和ケア研修会」等の研修プログラムを定期的に企画、運営しております。地域の皆さまに

近年、がんの罹患者数は増加を続けており、患者さまに有効な治療をいかに安全に苦痛を軽減し、継続して提供していけるかを当センターでは第一の目標としております。がん治療は長期に及び、内服治療より患者さまの負担が多くなりがちです。また、治療内容も画一的でなく、患者さまの日々の状態により個別化された治療が必要とされます。その為に専門的な知識をもつ

た医師、薬剤師、看護師、事務職員等が協力し集学的な診療体制を構築してまいります。

増加を続けており、患者さまに有効な治療をいかに安全に苦痛を軽減し、継続して提供していけるかを当センターでは第一の目標としております。がん治療は長期に及び、内服治療より患者さまの負担が多くなりがちです。また、治療内容も画一的でなく、患者さまの日々の状態により個別化された治療が必要とされます。その為に専門的な知識をもつ

た医師、薬剤師、看護師、事務職員等が協力し集学的な診療体制を構築してまいります。



- 新がん治療センター長就任の挨拶…………… P 1
- 脾臓がんの診断と治療について…………… P 2
- 職員紹介・看護学部…………… P 3
- がん治療センターからのご案内…………… P 4
- 基本理念・基本方針 患者様の権利 お知らせ…………… P 4

膵臓がんの診断と治療について

外科 前任准教授 前川 博

1 膵臓がんのこれまで

近年、がんたたか患者さんを支援し、早期発見の啓蒙を目的とする数種類のリボンキャンパーンが行われています。乳がんのピンクリボンキャンパーンや前立腺がんの(ライト)ブルーリボンキャンパーンのおかげでがんの患者さんの早期発見、ひいては生命予後の延長がもたらされています。膵臓がんではその啓蒙活動としてパープルリボンキャンパーンが行われています。キャンパーン活動では、海外でいち早く承認された膵臓がんの治療薬を日本でもより早く使えるようにはたらきかけを行ってきました。しかし膵臓がんでは乳がんや前立腺がんほど治療の延命効果が飛躍

的に伸びてはけません。これはまだまだ早期に発見される、つまり自覚症状のない患者さんを拾い上げられる有効なやり方がわかっていないのです。

2 膵臓がんのリスク因子を知ろう

膵臓は背中に近い臓器で、消化管とは十二指腸とつながりがあります。直接食べ物のとおろころではありません。ですから、便潜血反応でもわかりません。食事で膵臓も刺激を受けると活動します。膵臓がんでは食事と関連して何らかの痛みを出すことはありませんが、胃とか十二指腸の内視鏡ではわかりません。胆石を疑われて検査をしても膵臓は比較的超音波検査ではわかりづらいので、

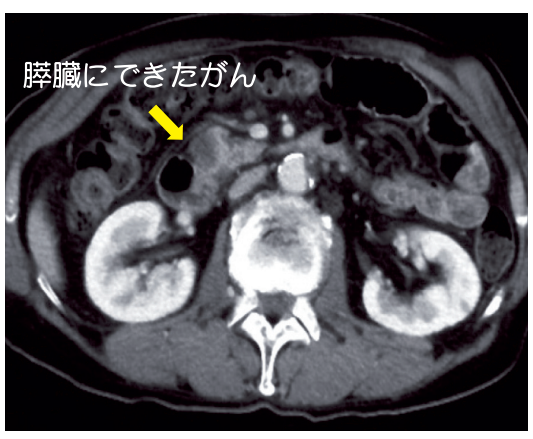
発見されないことが多いのです。だとしたら膵臓がんを積極的に発見するためには、膵臓がんのリスクのある人では重点的に検査をしたほうがよいのではないかと考えられます。

今のところ膵臓がんのリスクは、新規の(発症から2年以内)糖尿病の人、糖尿病の増悪を認める人、若いころから肥満のあった人、喫煙者、家族に膵臓がんのある人です。このようなリスクをお持ちの方はできれば半年に一回で超音波検査を行って、膵臓に異常がないか調べてもらうことをお勧めします。

3 動き出した膵臓がんの治療

手術技術の向上から膵臓がんが膵臓の裏の大きな血管に浸潤していても、がんが浸潤した血管ごと合併切除して吻合することが行われています。(当院では心臓血管外科の先生があっという間につなぎ合わせてくれます。感

謝、感謝)さらに抗がん剤を術後6カ月服用することによって再発を抑制できることが最近わかってきました。内服の抗がん剤を4週間服用し、2週間休むというサイクルを6カ月間続けていきます。その後は抗がん剤治療をせずに外来で検査をしていきます。このような治療法の確立によって進行した膵臓がんの患者さんでも長期生存が可能となってきました。今後はいかに手術可能な段階で膵臓がんを発見するかということが、膵がん治療のカギになってくると思われます。



膵臓にできたがん

新入職員紹介



手術室
結城 恵

Profile

4月から看護師として働いています。幼い頃から医療に興味があり、両親が病気を患った際、看護師の優しい言葉かけや親切な態度を見て中学生のときに看護師になろうと思いました。学生の頃の実習では自分の看護に対して多くの葛藤がありました。が、患者様からの感謝の言葉をかけてもらったことで、看護師を目指してよかったと実感しました。

言語聴覚士になって4年目で、言語聴覚士はことばや聞こえ、飲み込みに障害を持つ方の機能回復や環境設定などの援助をおこなっています。喋ることも食べることが私達にとって楽しみであり、生活の中で欠かせない喜びだと思っています。言語や飲み込みに障害を持った方は身体だけでなく精神的にも苦痛を感じてらっしゃると思います。患者さまや御家族の気持ちに寄り添ってリハビリテーションをおこなっていきたくと思っています。患者さまや他のスタッフに信頼される言語聴覚士を目指して自らの知識・技術を磨いていきたいです。



リハビリテーション室
野田 尚江

Profile

順天堂大学医学部附属 静岡病院での実習について



保健看護学部
実習委員会委員長
近藤ふさえ

保健看護学部は、「仁」の精神に基づき、チーム医療の一翼を担う優れた看護実践力をもつ心温かな看護師を養成することを教育方針のひとつに掲げ、臨地実習を重視しています。

昨年9月より本格的な領域実習が始まりました。薄紫色のユニホームを着た学生が、看護師さんと共にケアを実施させて頂いた患者さまもおいでかもしれません。未熟な対話、ケア技術にもかかわらず、快良くお引き受け下さっていることに感謝致します。ここにあらためてお礼を申し上げます。

ある病棟でベッド上安静の方に洗髪をさせて頂いた時のことです。学生は額に汗しながら無我夢中、技術もままならないうえ、襟元を濡らしてしまいました。その方は「大丈夫、次はうまくいくでしょう」と云って下さり、学生は申し訳なさ感謝から目に涙を浮かべ「次は頑張ります」と約束しました。このように実習では、かけがえのない体験をさせて頂いております。

ご入院中の患者さまを学生がご担当させて頂く場合は、教員・臨地実習指導者をはじめ医療スタッフの指導のもと、安全に安楽なケアを第一に考え、誠実に学んでいく所存でございます。今後とも臨地実習にご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願致します。

がん治療センターからのご案内

当院では「地域がん診療連携拠点病院」として、患者さまとご家族を支援する様々な体制を整備しております。どうぞお気軽にご相談、またはお問い合わせ下さい。

① 市民公開講座を開催しています。

市内外を問わずどなたでもご参加いただけます。申込不要、参加費無料です。開催予定、演題、講師等は、がん治療センター事務局までお問い合わせ下さい。

② 外来化学療法を積極的に取り入れています。

これまで入院で行っていた化学療法を、家庭で生活をしながら外来通院で行うことで、患者さまの利便性を高め、生活の質を維持することができます。

③ 相談支援センターによる相談支援を受けられます。

緩和ケア、セカンドオピニオン外来、患者・家族サロンについて、また治療に伴う経済的な悩み等、がんに関する様々な相談について専門のソーシャルワーカーや看護師等がお話をお伺いします。

④ 「地域連携クリティカルバス」を活用しています。

かかりつけ医と当院とが連携し、役割分担をして患者さまに効率的な治療を提供します。

⑤ 「緩和ケアチーム」によるサポートが受けられます。

がんによる身体的苦痛や精神的な悩み等を和らげられるよう、多職種チームによりサポートいたします。

⑥ おかかりの主治医以外の専門医師の意見を聞く「セカンドオピニオン外来」を行っています。

がんの診断、治療、生存率等の情報を集める「院内がん登録」を実施しています。

⑧ がん患者さまとそのご家族のための会「患者・家族サロン」を定期的に開催しています。

【お問い合わせ先】がん治療センターまたは患者相談室

順天堂大学医学部附属静岡病院は、ジュネーブ宣言・ヘルシンキ宣言・リスボン宣言を遵守し、大学医学部附属病院として診療・教育・研究に努めております。

"患者さまの権利" について広報させていただきます。

患者さまの権利

医療は患者さまと医療機関との十分な信頼関係で成り立っております。当院では、すべての患者さまに次の権利があると思料し、尊重した医療を行います。

1. 個人の人格を尊重した診療を受ける権利
2. 信頼に基づく医療を受ける権利
3. 個人情報保護の権利
4. 納得のいく説明と情報提供を受ける権利
5. 自らの意思で検査・治療法などを選択あるいは拒否する権利

順天堂大学医学部附属静岡病院の基本理念、基本方針について広報させていただきます。

《基本理念》

- 1) 学是「仁」の精神で人々の生命を尊重する
- 2) 「不断前進」の理念で創造的な前進と改革を進める
- 3) 大学医学部附属病院として、診療・教育・研究の充実を計る

《基本方針》

- 1) 患者さま一人一人に、安全で根拠に基づく高い質の医療を提供する。
- 2) 患者さまに満足していただける、きめ細かい手作りの看護をおこなう。
- 3) 快適な療養生活ができる環境を提供する
- 4) 医療安全対策、病病・病診連携に取り組む
- 5) 最新の医療情報の提供に努める

お知らせ

患者さまをご紹介頂く先生方へ

当院では、効率的な診療を受けていただくために、専用の診療情報提供書をご用意しております。専用の診療情報提供書をご希望の場合は、電話またはFAXにて下記へご請求下さい。

請求先：順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター医療連携室
電話：055-948-3111 (内線) 3550
フリーダイヤル：0120-78-9914 FAX：055-946-0858